ニコニコ箱

一週間に 4 回ゴルフが出来たので嬉しくて。　（山内鴻之祐）
嘉屋さん、澤田さん、入会おめでとうございます。ロータリーを楽しんで下さい。　（浅井正勝）
伝統と格式ある福井ロータリークラブへの入会ご承認ありがとうございます。ご指導宜しくお願いいたします。　（嘉屋次郎）
よろしくお願いいたします。　（澤田悟恵）
嘉屋さん、澤田さん、入会おめでとうございます。転勤までは途中で辞めないようにしてください。　（佐々木知也）
嘉屋さん、澤田さん、入会おめでとうございます。（瀬越智和）
嘉屋さん、澤田さん、入会おめでとうございます。（細江　究）
嘉屋さん、澤田さん、福井 RC へようこそ。村田会員、タイムリーな卓話楽しみです。先日はありがとうございました。（村中洋祐）
嘉屋さん、澤田さん、ご入会おめでとうございます。（渡邉義信）
ガウディープロジェクト (就業支援事業) ですが、次年度は昨年を 3 社上回る 23 社の会員の方にご登録いただきました。ありがとうございました。児童養護施設を退所した子供たちが 1 人でも多く、心身ともに安心して就労できる環境を提供してあげたいと思います。まだまだ募集しておりますので宜しくお願いいたします。　（寺本光宏）
本日は卓話の機会をいただきありがとうございます。
（村田良昭）
三浦博樹
【誕生日御祝】岩下春幸
誕生日御祝 / ロータリーに感謝 !!　（山本　宝）
【配偶者誕生日御祝】坂本安夫・中山浩成・橋本泰久
配偶者誕生日御祝 / 澤田さん、嘉屋さん、ご入会おめでとうございます。　（後藤正邦）
【結婚記念日御祝】木瀬雅博・鈴木進治・橋本泰久
【オンライン期間中　寄付申出分】 中山浩成
各　君

米山奨学特別寄付金

世界平和の為に多くの人々が働き続けますように。
（山内鴻之祐）
新会員、入会おめでとうございます。　（加藤幹夫）
木瀬雅博・辻恵利子
各　君

ロータリー財団増進特別寄付金

嘉屋さん、澤田さん、ようこそ福井 RC へ。　（山内鴻之祐）
前々から一度行きたかった舞鶴市の引き揚げ者記念館にようやく訪れることができ、反戦の思いを新たにしました。
（出雲路康照）
村田良昭さん、卓話ありがとうございました。　（清水則明）
藤井健夫先生の叙勲をお祝いします。　（野村直之）
村田さん、卓話ありがとうございました。　（村田長隆）
加藤有司
各　君

寄付金の状況

	5月19日現在	累　計	目　標
ニコニコ箱	65,000円	2,104,000円	3,000,000円
米山奨学金	8,000円	2,114,000円	2,492,000円
ロータリー財団	13,000円	3,068,960円	3,233,600円

ありがとうございました。

委員会報告

ニコニコ箱委員会　中山 浩成 委員長

今年は中々リアルの例会が出来ないにもかかわらず多くのご寄付をいただき、福井ロータリークラブの大きな善意を感じております。
残り 1 か月ほどですが、変わらずご寄付よろしくお願いします。

幹事報告

幹 事　浅井　正勝

① クールビス期間のご案内です。
5 月から 9 月末までをクールビス期間とします。ネクタイ着用は皆さまにお任せしますが、ジャケットは着用して下さい。
② 本日の例会終了後、今・次年度理事役員・委員長連絡会議を開催します。会場は瑞雲の間です。
担当の皆さま、例会終了後の移動をお願いします。

報　告

5 月 14 日 (土) 若狭 RC　創立 60 周年記念式典が小浜 旭座にて行われ、当クラブより、山内会長と浅井幹事のお二人が出席されました。

事務所　〒910-0006 福井県福井市中央 1 丁目 3 番 1 号加藤ビル 5 階 TEL：0776-25-0633　FAX：0776-24-8622
例会場　ザ・グランユアーズフクイ 3 F　TEL：0776-24-3200　例会 毎週木曜日 12：30 ～ 13：30
クラブ会報委員会　委員長：畑下 徳洋　副委員長：渡辺 一史　委員：白江 文夫・桑原 慎治・小野田 亮・山岸 恒一
ソングリーダー♪ ：野尻 章博・木村 憲一・木瀬 雅博・谷﨑 由美子・英 貴子・田中 秀也・山野井 秀一
ホームページ　http://www.fukui-rotary.com/　E-mail info@fukui-rotary.com
創立　1950年 (昭和 25 年) 10月15日　RI承認　1950年 (昭和 25 年) 12月4日 (承認　№ 7647)

現在会員数
138名

ROTARY CLUB of FUKUI
福井ロータリークラブ会報
R.I. District 2650 2021-2022 Weekly Bulletin
2022 年 5 月 26 日　第 2540 号（創刊 2696 号）

《2021-2022年度 R.I. テーマ》
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

クラブテーマ：ロータリーの原点を思い出そう。
そして人生を語り合い、愛を語り合い、経済を語り合おう。

地区スローガン：活力と輝き

R.I. 会長
シェカール・メータ

R.I. 第2650地区ガバナー
馬場 益弘

理　事				監　事		役員補佐	
会長	山内鴻之祐	クラブ奉仕	清川　卓二	監事	野村　直之	副幹事	中広　久
副会長・会長エレクト	荻原　昭人	職業奉仕	長谷美左子	監事	佐々木知也	副会計	油谷　啓司
直前会長	清水　則明	社会奉仕	渡邉　義信			副会計	清水　正一
幹事	浅井　正勝	国際奉仕	長田　裕美			副会場監督	木下　勝元
会計	松田　将裕	青少年奉仕	森川　圭造			副会場監督	滝本　光男
会場監督	藤本　潤一	ロータリー財団	城戸　利枝				

5月は「青少年奉仕月間」です。　― 地域の若者たちと共同で奉仕プロジェクトを実施しよう 。―

本日の例会　2022年5月26日　第3491回

12 時 30 分　開会点鐘
会長挨拶
表　彰
米山功労クラブ (第 62 回)
米山功労者 /
平野 洋一 会員 (第 3 回)
上田 祐広 会員、坂本 安夫 会員 (第 2 回)
浮田 慎太郎 会員 (第 1 回)
委員会報告・幹事報告・その他
クラブ協議会 (次年度奉仕担当当活動計画発表)
13 時 20 分　閉会点鐘

今後の予定

- 6月 2日(木)
  栄誉行事 /
  米山奨学生卓話(謝 燕琴さん)/
  理事会
- 6月 9日(木)
  ゲスト卓話
  (公益社団法人福井県観光連盟
  観光地域づくり
  マネージャー　佐竹 正範氏)
- 6月16日(木)
  山内 鴻之祐会長 講話

会長挨拶

2021-22 年度 会 長
山内 鴻之祐

今日は、落ち着いた雰囲気の中での例会です。五月は晴れた日が多く皆様も草木も小鳥たちも虫たちも心地よく過ごしていることでしょう。私も高野山、東レ同期会、ゴルフと多忙を極めています。多くの命がそれを繋ぐために懸命に生きております。格式と伝統を持ってする我が福井ロータリークラブ会員の皆様も、いのちを輝かせておられることと拝察致します。愚痴は止めましょう。夢を持ちましょう。土曜日に若狭ロータリークラブの 60 周年記念式典に参列して参りましたが、若狭ロータリークラブの皆様が必死でクラブを守り育てて来られたことを肌で感じさせて頂きました。我がクラブも福井を代表するクラブとしておひとりおひとりが働き続けて参りましょう。

さて今日は、名言集２３を学びましょう。
かきくけこ人生です。

か・・・・・感動する。　全てが美しく見えてくる
き・・・・・何事にも興味を持つ。　アイデアが沸き上がる
く・・・・・工夫を楽しむ。　知恵があなたを待っている
け・・・・・健康に心掛ける。　病気が逃げていく
こ・・・・・恋をする。　心豊かな人生になる

両親から貰った尊い命です。生きて生きて生き抜きましょう。家族のために、地域のために、国家のために、世界平和のために。
この福井ロータリークラブの会員であることに誇りを持って頂き、この例会を人生の道場として頂いて欲しいものです。多くの優れた仲間たちと親睦を図りながらご自分の幸せな人生を構築して頂きたいと思います。皆様のご健康とご多幸をお祈りして会長挨拶と致します。

次回の例会　2022年 6月 2日(木)
■ 会場：ザ・グランユアーズフクイ
■ 栄誉行事 / 米山奨学金授与 /
米山奨学生卓話 (謝 燕琴さん)
■ 開会点鐘：　12時30分
■ 閉会点鐘：　13時20分

2022 年 5 月 19 日　　第 3490 回

出席報告	
● 現在会員	138名
● 出席者	83名
● 欠席者	44名
● 出席免除者欠席	11名
● 今回例会出席率	65.4%

例会修正出席率	4 月 21 日
● メークアップ	29名
● 欠席者	24名
● 修正出席率	81.7%

●メークアップ　渡邉義信(5/13 三国)、浅井正勝・藤井健夫(5/21　2022年規定審議会地区報告会)、山内鴻之祐・浅井正勝・中広　久(5/22 第169回県下現・新会長幹事会)　　各　君

例会報告

入会セレモニー

東京海上日動火災保険㈱　福井支店長
嘉屋　次郎 会員

新入会員の嘉屋 次郎と申します。
奉仕の精神を大切に励みますので、ご指導賜りますようお願い申し上げます。

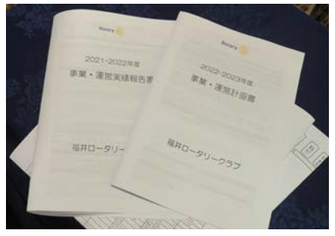
三井住友海上火災保険㈱　福井支店長
澤田　悟恵 会員

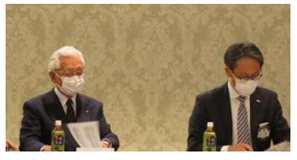
今回、平野 洋一 様、後藤 正邦 様よりご推薦いただき、入会させて頂く澤田 悟恵です。よろしくお願い致します。

今・次年度理事役員・委員長連絡会議

5 月 19 日 (木)　13 時 30 分～ザ・グランユアーズフクイ　瑞雲の間

今・次年度理事役員・委員長連絡会議が例会終了後、行われました。
今年度各理事、委員長からは事業報告、次年度理事、委員長からは事業計画が発表され、監事講評をいただき　会議を終えました。





会員卓話

村田 良昭 会員

演　題　　北陸電力グループの「電力安定供給の取り組みとカーボンニュートラルへの挑戦」

私は、昭和 38 年 12 月に三国町宿、えちぜん鉄道の三国港駅の近くに生まれました。実家は鮮魚店を営んでおり、父は福井漁連に勤めながら、母は坂井町に行商にいったり、炭火で焼いた焼魚を売ったり、冬は、実家にある大きな窯で茹でた「水かに」をお客さまに提供。子供のころは、大きなたらいに湯気があがった茹でたての「水かに」を部屋まで運ぶのが私の仕事で、お客さまの喜ぶ顔を見るのが楽しみでした。

三国北小学校、三国中学、三国高校、上智大学と進み、昭和 61 年に北陸電力に入社しましたが、入社以降福井で勤務することはなく、支店長で初めて福井に勤務することになりました。また、中学 1 年から剣道を始め、現役で継続しており、現在教士七段。富山では 25 年前から大沢野少年少女剣道教室で、小、中学生を指導しております。現在も月に一度程度富山に戻って指導を継続しています。また、自分の健康維持のため指導だけでなく、会社の剣道部や実業団のメンバーと稽古し、今では年 1 回 5 月の連休に、京都の平安神宮近くの武徳殿で開催される全日本剣道演武大会に参加し、八段の先生や全国の剣道仲間と稽古するのが楽しみの一つです。

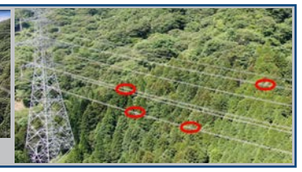
京都武徳殿での演武試合

北陸電力入社後は、様々な部門を経験。入社後、最初は営業所に配属され、電気料金をお支払いいただけないお客さまの回収業務、営業部では電気温水器や飲食店等の電気の厨房機器の販売推奨等を経験し、燃料部では、火力発電所の燃料である石油の調達、その後グループ会社の北陸通信ネットワークに出向し、通信事業の自由化の中、電力会社ではできない経験をさせていただきました。それから役員の秘書をやることになり、当時福井出身の新木の社長、会長時代の秘書を務めました。その後は燃料部に戻り、課長として石油以外の火力発電所の石炭、LNG、原子力発電所の燃料であるウランの調達に携わります。そしてまた、グループ会社のデータセンター事業の会社の社長として出向し、次に燃料部長、人事労務部長を経験し、２年前から支店長としてお仕事させていただいております。会社人生 35 年のうち、1/3 が海外からの燃料調達業務に携わっていたこともあり、価格交渉や現地調査等で 15 か国に出張させていただきました。

豪州出張　炭鉱調査

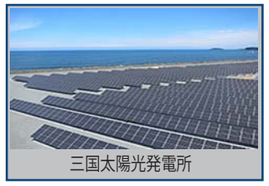
「当社の電力の安定供給の取り組み」

電力会社の使命は「電力安定供給」です。北陸電力は発電設備を北陸エリア内に分散して配置し、他エリアとも交流連携。北陸エリア内の大規模停電時にも連鎖的な発電所停止の回避に備えています。監視も、24 時間 365 日電気の使われる量を見張りながら発電量を調整しています。今では停電も少なく、停電時間も短くなっており、停電した場合の復旧までの時間は平均 20 分弱となっております。停電未然防止に向け、発電所や配電、送電設備の巡視点検や配電線に影響がある樹木を事前に伐採したり、樹木に影響がないように配電線のルート変更や断線しにくいケーブルへと取り替えたり、また冠雪しにくい配線に変更しています。保安伐採訓練や雪中歩行訓練など様々な訓練も行っています。2004 年の福井豪雨の時も、電柱や送電鉄塔など電力設備が濁流に巻き込まれ、6300 戸停電しましたが、わずか 3 日ですべてのお客さまに電気をお届けすることができました。また、一昨年の大雪の際にも、倒木による停電が多数発生しましたが、いずれも短時間で復旧しております。更に、大規模災害があると、復旧に向け全国の電力会社が応援派遣します。2019 年の千葉の台風被害では、北陸から高圧発電機車 13 台や 528 名派遣いたしました。


定期的な送電線の目視点検

「当社のカーボンニュートラルへの挑戦について」

地域の責任あるエネルギー事業者として、2050 年カーボンニュートラルに挑戦していきます。電源の脱炭素化に加え、お客さま、地域の脱炭素化支援に取り組んでいきます。
電源の脱炭素化では、再生可能エネルギーを 2030 年までに 2018 年比で、100 万ｋW以上開発し、年間 30 億 kWh 増加を目標に取り組みます。また 2030 年時点で CO2 排出量を▲50%以上、発電電力量に占める非化石電源比率 50%以上を目指します。


三国太陽光発電所

カーボンニュートラル達成には欠かせない原子力発電所の早期稼働に加え、世界的に悪者になっている石炭火力もタービン更新などの効率向上と、バイオマス混焼拡大、更に将来のアンモニア、水素の混焼もしくは専焼発電にむけた検討や資源がない日本にとって化石燃料をゼロにすることは難しいため、CO2 を回収し貯留し利用する技術（CCUS）など次世代技術の活用についても積極的に検討しています。

三国風力発電所

お客さま・地域の脱炭素化支援では、お客さまの連携しながら太陽光第 3 者所有モデルやお客さまと連携した再エネ開発、再エネによる地産地消、再エネによる電気料金メニューの提供や、電化の提案などを行っていきます。